

学校教育目標

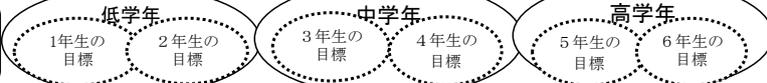
— 自分の思いや願いを実現しようとする子 —

- 「児童、教職員、地域住民など、そこに関わるすべての人が、共に学び合い高め合う学校づくり」
- 知) 学力を獲得した知識のみの枠に留めるのではなく、自ら学ぶための意欲と能力を加味した指導を実践します。
- 徳) 自分自身を知り、個性を認め合い、考えを尊重し合い、互いに共存していこうとする態度を育てます。
- 体) 多様な動機付けのもと、食育と体育の両輪による健全な身体の育成と体力向上を目指します。
- 公) 発達段階に応じた探究・創造などの体験活動を重視し、「自分たちがつくる社会」について考える姿勢を育てます。
- 開) コミュニケーションを通して人と関わりつなげていくために、自分から挨拶する態度を育てます。

学校教育目標を実現するための具体的な目標

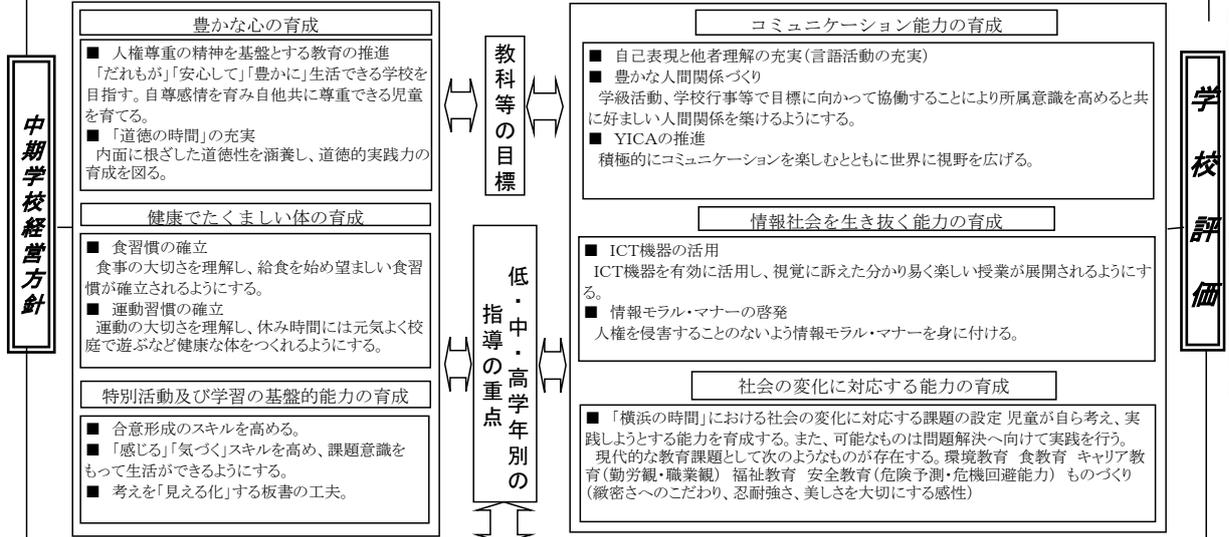
生きてはたらく知	魅力ある授業・分かる授業を実践する。基礎・基本の定着を基盤として「進んで学び、学びを深め、学びを活かす子ども」の育成に励む。
豊かな心	日常の活動において相手意識を持って、他者の立場を考えたり行動したりすることを十分に価値付けていく。
健やかな	昨年までの重点研究で自ら体育の楽しさに触れてきた経験を生かし、自己の体力を高めるための動機付けと運動の日常化への意識付けを図る。併せて食育も充実させていく。
児童指導	教職員の共通理解のもと、「桜台スタンダード」に基づく一貫した児童指導を充実させ、子どもたちが安心して安全に学校生活を送れるように努める。職員会議内に児童理解の内容を定例化し、児童の状況を共通理解する。
地域連携	「まちとともに歩む学校づくり懇話会」を発展させ、2022年度までに学校運営協議会を新規設置する。地域コーディネーターの育成を図り、地域と学校がさらに連携・協働し活動していくための体制を整えていく。
防災学習の継続深化	マニュアルに従って動く防災から、自分の頭で考え、行動する防災への転換。災害に向き合う態度を育て、地域の率先避難者としての行動へとつながり組みを進める。
いじめ対策	いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止に全力を注ぐ。事案を軽視せず、毎月のいじめ防止対策委員会を機能させ、組織的に対応する。
人材育成・組織運営	経験の浅い教職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーがコーディネーターとなって研修を進め相互研鑽する。グループウェア等を活用して、情報の共有化を図るとともに、事務の簡便化、効率化を図る。働き方改革プロジェクトチームを立ち上げ、本校の実態や課題に即した取組を検討し、実践する。

幼保小連携
 ■ 幼稚園・保育園との交流
 ■ 小1プロブレム解消



横浜型小中一貫教育
 ■ 小中一貫カリキュラム
 ■ 児童・生徒指導連携
 ■ 小・小連携

教育活動の重点的課題



地域・外部機関との連携・協力

- 地域人材・地域施設等の活用(ゲストティーチャー、地域素材の教材化)